

Japan Jump Rope Project
Speed
Contest
2019 The 3rd

30秒の限界を超える!

全国なわとびスピードコンテスト2019
四国エリア予選

FEEL ROPE! FEEL FRIENDS!

2019.1.13 SUN
10:00 ▶ 15:00

大洲青少年交流の家体育館

- 受付時間 / 9:00 ~ 9:45 ■ 参加資格 / 小学生以下
- 参加費 / 1 種目 500 円、2 種目以上 1,000 円
- お問い合わせ / 愛媛なわとび協会 (contact@ehime-nawatobi.com)

★ 予選ランキング上位者は全国大会出場権を獲得できます。*

四国からの全国大会出場枠 [シングル 2、ダブル 2、エイト 2、総合 1]

*全国大会出場者には、全国大会のエントリーキットをお送り致します。

エントリー方法

JJRP のウェブサイトから参加したい種目の
エントリーフォームからお申し込みください。

▶▶▶▶ <http://jjrp.jp>



スマートフォンからは
QR コードが読み取れる
アプリからエントリー
可能です。

全国なわとびスピードコンテスト2019 決勝大会 ▶

2019年3月30日(土) 露橋スポーツセンター
愛知県名古屋市中川区露橋二丁目14番1号

Let's Jump UP!

JJRP
Japan Jump Rope Project

全国なわとびスピードコンテスト 2019・大会ルール



本大会は全国の小学生を対象として開催されます。

参加する全ての競技者が安心・安全に競技を楽しめるように、ルールご理解のご協力宜しくお願い致します。

※種目名を短縄跳び（以下「シングル」と言う）、長縄跳び（以下「エイト」と言う）、ダブルダッチ（以下「ダブル」と言う）

※特にチーム代表者・指導者・保護者の皆様は、関係者へのルール周知の徹底にご協力ください。

共通ルール

【開始・終了の合図】

- ① 開始の合図は次のように流れる。
「JJRP Jump Rope Speed Contest, Judges Ready, Skippers Ready, Set (静止) Go」
- ② 「Go」という音声の流れたら競技開始の合図とする。
- ③ 終了の音声は次のように流れる。20秒経過した時点で「Ten」、25秒経過した時点で「Five, Four, Three, Two, One」とアナウンスが流れる。
- ④ 30秒経過を知らせるブザー音が鳴ったら競技終了の合図とする。

【静止について】

全種目共通で「Set」から「Go」までの間はロープ、選手共に静止をする。

【審査】

- ロープを跳んだ足が床に着地した瞬間を1回と数え、30秒間での跳んだ回数（以下「跳躍回数」と言う）を計測する。
- 跳躍回数が同数の場合で、決勝進出者を決めなければならない場合は、決勝進出者決定戦を行う。

【重複エントリーについて】

違う種目でのエントリーは可能だが、同じ種目での同一人物の重複エントリーは禁止とする。
(例：ダブルで1の選手が2チームにわたり大会にエントリーすること)

【競技エリア】

- 競技エリアを、シングルとダブルは3m×5m、エイトは6m×14mとし、選手はこの競技エリア内で競技をしなければならない。
- 競技エリアに入っているかの判定に関しては、競技エリア線上はエリア内に入っていると、片足が完全にエリアの外に出た場合はエリア外として判定される。(チーム種目では1でもエリアの外に出た段階でエリア外と判定する)
- 競技エリアから外れた場合はフライングと同様のペナルティを適用する。(以下フライング参照)

【フライング】

- フライングの判定
専用アナウンスの「Set」から「Go」の間にロープ、選手共に動いた場合はフライングとする。「Set」より前のアナウンスでは、動いてもフライングと判定されない。
- フライングによるペナルティ
フライングをした競技者がいた場合でも競技を続行する。
競技終了後、種目ごとに決められている回数を跳躍回数から減らす。
シングル・ダブル：-10回 エイト：-5回
総合はフライングをした種目の決められている回数を合計回数から減らす。
フライングの有無については測定結果の記載される箇所に分かりやすく記載される。

シングル・スピードルール

1回30秒間で縄を跳んだ回数を計測する。(計測方法は両足カウントとする)
30秒間の計測を2回行い、その合計の跳躍回数(以下「合計跳躍回数」と言う)で競う。

跳躍方法

- スタート「Go」の合図で競技者はロープを回し跳躍を始める。
- ロープは前回し、跳躍方法は自由とする。
- 計測途中で跳躍方法を変更しても良い。
- ブザー音で競技終了となる。

※途中ロープに引っかかるなどのミスがあっても競技を再開できる。
※ミスによるペナルティはない。時間内の跳躍回数で競い合う。

ダブル・スピードルール

1チーム3名でチームを組み、エントリーされたチームメンバーの中から、ロープを回す人(以下「ターナー」と言う)2、ロープを跳ぶ人(以下「ジャンパー」と言う)1に分かれ、1回30秒間で縄を跳んだ回数を計測する。30秒間の計測を2回行い、その合計跳躍回数で競う。2回目のチャレンジの時にターナーとジャンパーが入れ替わっても良い。

跳躍方法

- スタート「Go」の合図でターナーはロープを回し、ジャンパーは跳躍を始める。回し方は2本のロープを円を描くように内側に交互にずらして回す。
- ジャンパーの跳躍方法は自由とする。
- ジャンパーは計測途中で跳躍方法を変更しても良い。
- ブザー音で競技終了となる。

※途中ロープに引っかかるなどのミスがあっても競技を再開できる。
※ミスによるペナルティはない。時間内の跳躍回数で競い合う。

エイト・スピードルール

1チーム3名以上でチームを組み、エントリーされたチームメンバーの中から「ターナー」2、「ジャンパー」1に分かれる。ターナー2名、ジャンパーは12名以下でチームを作る。ジャンパーは12名で登録していても、当日の体調により欠場する選手がいる場合、12名以下であれば何名で跳んでも良い。30秒間の計測を2回行い、その合計跳躍回数を競い合う。2回目のチャレンジの時にターナーとジャンパーが入れ替わっても良い。

跳躍方法

- スタート「Go」の合図でターナーはロープを回し、ジャンパーは跳躍を始める。
- ジャンパーはターナーが回しているロープの中に入り、「8の字跳び」を行いロープを跳ぶ。(※1が2回跳んで縄から出たり、2同時に跳躍しても、カウントは1回とする。)
- ブザー音で競技終了となる。ブザー音が鳴った瞬間に、着地している(片足でもよい)選手までを回数とする。ブザー音が鳴った時に空中にいる選手はカウントしない。

※途中ロープに引っかかるなどのミスがあっても競技を再開できる。その際誰から再開しても良い。
※ミスによるペナルティはない。時間内の跳躍回数で競い合う。

総合・スピードルール

3名以上14名以下でチームを組み「シングル」「ダブル」「エイト」全ての種目をそれぞれ1回計測し3種目の合計跳躍回数で競い合う。エイトに関してはチーム全員が参加するものとする。
※合計跳躍回数が同数の場合に限りサドンデスを行う。
サドンデスの方法は3種目のうち1種目をくじ引きで決め、各チームの代表者が競い合う。

大会ルールの詳細はホームページでご確認ください。

▶▶▶▶▶▶ <http://jjrp.jp>

大会規定

【衣装】

- 公序良俗に反しない衣装を着用すること。
- 本番用衣装を事前に着用し、安全性を確認すること。(特に靴紐・アクセサリなど)

【ロープ】

- ロープは、他人に危害が及ぶ、又は危険と思われるロープの使用を禁止する。
その他ビーズ・ワイヤー・ビニール・ゴム等については原則使用種類等の制限は無いものとする。
 - 競技者はエントリーの際、使用するロープについて種類を申請しなければならない。
- 【その他】
- 競技中にロープが切れたり、破損した場合、出場順を改めて一度だけやり直すことができる。
 - 競技中に怪我をして続行不可能と医療スタッフが判断した場合は、競技者及びチームは競技を中止する。

【禁止事項】

- 大会の準備や運営の著しい妨げとなる行為を行った場合
 - エントリーしていないメンバーが、理由もなく競技に出場した場合
 - 他チームの競技を意図的に妨げる行為を行った場合
 - 客席に危害が及ぶ行為を行った場合(ロープを客席に投げるなど)
 - 禁止されているロープを使用した場合
 - 火気を使用した場合(火・クラッカーなど)
 - 公序良俗に反する行為を行った場合
- 禁止事項に該当すると実行委員会及び審査員がみなした場合、審判員より厳重注意を行う。それでも改善の余地が見られない場合(二度目の注意が入った段階)は、その競技者もしくはチームを出場停止及び失格とする。競技中に禁止事項が発覚した場合、競技を一時中断する。

JJRP
Japan Jump Rope Project

特定非営利活動法人
日本なわとびプロジェクト

「なわとびサイコー！」動画配信中!

JJRP

検索

2019
3.31 **なわの交流会**

全国大会に集まった仲間たちと一緒になわとびを通じた交流会を開催します。

日時 ▶ 2018年3月31日(日) 9:00~11:30

場所 ▶ 名古屋市青少年宿泊センター 〒459-8001 名古屋市緑区大高町蛸池4-6